

魅力いっぱい / G Y O D A

お出かけガイド



埼玉県

行田



歴史も自然も盛り沢山！
行田へ出かけませんか？



オススメ!

歴史のまち行田 見どころスポット

忍城・埼玉古墳群・古代蓮の里

オススメ!

おいしい行田 食べ歩きグルメ

フライ・ゼリーフライ



古代のロマンと
歴史が息づく街

行田市 観光マップ



行田市役所から徒歩3分
赤レンガ造りの建物が目印 →

観光情報館 ぶらっとぎょうだ

行田市商工センター1階にございます。行田市の観光情報等についてご案内しております。一部の市内特産品の紹介や販売をしており、休憩所も設けておりますので、気軽に“ぶらっと”お立ち寄りください。

行田市忍2-1-8 (行田市商工センター1階)
TEL. 048-554-1036 開設時間: 9時~16時
開設日: 毎日 (12月29日~1月3日は休館)



観光案内所をはじめ、市内6カ所で無料レンタサイクルがあります。



こぜにちゃん

歴史の街・行田の散歩は
見どころいっぱい!
四季を彩る花々や
街のあちこちにある蔵を
見て歩くのもオススメ。



フラベえ

行田市への アクセス



● 自家用車

東北自動車道

- ▶ 羽生インター...125号バイパス経由で25分
- ▶ 加須インター...加須市内より125号国道経由で30分

関越自動車道

- ▶ 花園インター...140号国道より熊谷経由17号バイパスで40分
- ▶ 東松山インター...滑川町から吹上経由で30分

● 電車・バス

上越新幹線

▶ 熊谷駅下車 JR高崎線乗りかえ 行田駅下車、又は秩父鉄道乗りかえ 行田市駅下車

JR高崎線

- ▶ 北鴻巣駅...さきたま緑道 (彫刻の遊歩道) から徒歩80分
- ▶ 吹上駅...朝日バス利用で15分程度
- ▶ 行田駅...市内循環バス
- ▶ 熊谷駅...秩父鉄道乗りかえ 行田市駅下車

東武伊勢崎線

▶ 羽生駅下車 秩父鉄道乗りかえ 行田市駅下車

行田市内の
観光のことなら
なんでもおまかせ



観光案内所

JR行田駅東口を降りるとすぐのところにある観光案内所がございます。行田市の観光情報、公共施設や宿泊施設などをご案内いたします。また、市内循環バスの待合室も設けてございます。併せてぜひご利用ください。

行田市沓里山町12-1 TEL. 048-550-1611 開設時間: 9時~16時
開設日: 毎日 (12月29日~1月3日は休館)



観光ガイドステーション

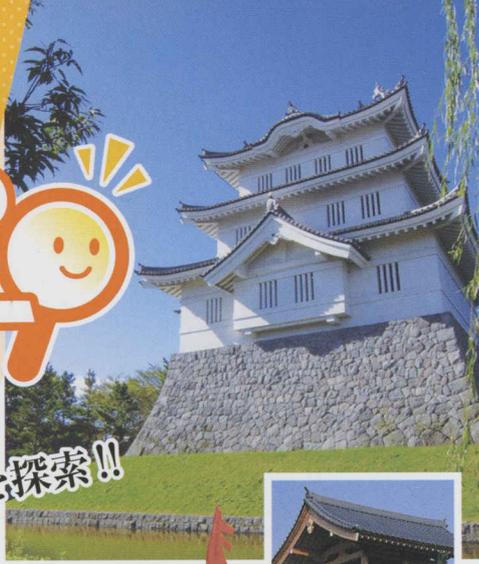
足袋蔵まちづくりミュージアムにおいて、観光情報の提供や特産品の紹介・あっせんを行っています。(NPO法人 ぎょうだ足袋蔵ネットワーク運営)



行田市行田5-15 TEL. 048-552-1010 毎日営業 (12/29~1/3、8/13~8/16は休館) 開館時間: 午前10時~午後4時 入館料無料

歴史のまち行田 見どころ スポット

古代のロマンと
歴史が息づくまち行田を探索!!



忍藩十萬石の面影残る名城



おし じょう
忍 城



行田市郷土博物館 / 行田市本丸17-23
TEL. 048-554-5911 ㊦61台 [開館時間] 9:00~16:30 (入館受付は16:00まで) [休館日] 月曜日(祝日・休日を除く)、祝祭日の翌日(土・日は開館) 毎月第4金曜日(テーマ展・企画展開催中は開館)、年末年始

市の中心部に位置する忍城は、室町時代の文明年間に築城され、豊臣秀吉の関東平定の際には、石田三成の水攻めに耐えた「浮き城」として知られます。関東7名城のひとつに数えられた忍城は、忍藩十萬石の城下町の象徴となりました。

現在ある「忍城御三階櫓」は、明治時代に取り壊されたものを昭和63年に再建したもので、内部は郷土博物館の展示室の一部となっていて、最上階からは市内が一望できます。

東日本最大の古墳群



さきたま こふんぐん
埼玉古墳群



県立さきたま史跡の博物館 / 行田市埼玉4834 TEL. 048-559-1111 ㊦普通車303台、大型車33台 [開館時間] 9:00~16:30 (入館受付は16:00まで) ※7月1日~8月31日は 9:00~17:00 (入館受付は16:30まで) [休館日] 月曜日(祝日・振替休日及び5月2日、埼玉県民の日(11月14日)を除く)、年末年始 ※その他 臨時休館する場合あり

埼玉古墳群は、国宝「金錯銘鉄剣」が出土した「稲荷山古墳」や日本一の規模を誇る円墳の「丸墓山古墳」などの9基の大型古墳が集中する東日本最大の古墳群です。なお、古墳群周辺はさきたま古墳公園として整備されており、園内には「県立さきたま史跡の博物館」や、はにわ作りが体験できる「はにわの館」などがあり、多くの人々が訪れます。



埼玉県名
発祥の地です



国宝「金錯銘鉄剣」



古代蓮会館マスコット
つぼみちゃん



花蓮の名所

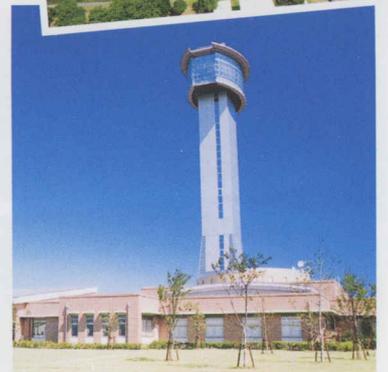


こ だ い は す さ と
古代蓮の里

古代蓮会館 / 行田市小針2375番地1 TEL. 048-559-0770 ㊦490台 [開館時間] 通常期(6月下旬~8月上旬以外) 9:00~16:30 (入館受付は16:00まで)、蓮の開花期(6月下旬~8月上旬) 7:00~16:30 (入館受付は16:00まで) [休館日] 月曜日(祝日を除く)、祝祭日の翌日(土・日は開館)、年末年始 ※蓮の開花期(6月下旬~8月上旬)は無休

ここ行田で永い眠りから目を覚ました行田蓮の、その神秘的な美しさを満喫できる「古代蓮の里」。古代蓮の里公園内では、6月下旬から8月上旬にかけて、42種類12万株の花蓮を見ることができます。花卉の数が少ない原始的な形態を持つ行田蓮は、約1400~3000年前の蓮であると言われています。

地上50mから
眺める大パノラマ
6月~10月は
田んぼアートも見られます。



古代蓮会館

いつでも見どころぎっしり

行田市イベントカレンダー

1月

- 初日の出(展望タワー)
- お焚き上げ

2月

- 聖徳太子例大祭
- 忍城下節分祭

3月

- 桜ボンボリまつり
- 鉄剣マラソン
- 行田春まつり

桜(3月~4月)



5月

- さきたま火祭り
- 藤まつり

6月

- 田んぼア

花菖蒲(6月~)



グルメ 食べ歩き おいしい行田



お好み焼き風の「フライ」と、ジャガイモとおからのコロッケ風「ゼリーフライ」は、行田自慢の伝統の味。行田名物としてテレビや雑誌に度々登場。

油で揚げてないのに...? フライ

行田でいう「フライ」とは、小麦粉を水で溶き、鉄板の上で薄く焼きながら、ねぎ、肉、卵などの具を入れ、好みでソースまたは醤油だれをつけて食べるもの。

行田市の位置する北埼玉地方は古くから小麦の産地であり、「フライ」はもともと農家で手軽に作るおやつのようなものでした。行田で昭和初期に全盛期を迎えた足袋工場で、働く女工さんに大ヒットし、販売する店が増えて定着したとのこと。現在でも市内では30以上の店が営業しています。

甘くはないぜ! ゼリーフライ

フライと名前は似ていますが、「ゼリーフライ」は全く違う食べ物。見た目は衣のついていないコロッケのようなもので、そのルーツは、日露戦争の時、中国から伝わった「野菜まんじゅう」だということです。ジャガイモにねぎやにんじん、さらにたくさんおからが入っているのも特徴で、食物繊維が豊富でヘルシー。ソースの味と香りがとても利いて、モチモチとした食感が大人にも子どもにも大人気です。



「にせにちゃん」
「フラベえ」です。



行田ゼリーフライがモチーフの「にせにちゃん」、行田フライがモチーフの「フラベえ」。2人力を合わせてゼリーフライ、フライの全国ブランド化計画を推進中です!

行田名物 足袋の歴史



木綿の産地でもあった行田は、近くに中山道が通っていたことで、主に旅行用や作業用の足袋作りが盛んになったと考えられています。

明治時代になるとミシンが使われるようになり、足袋の生産量は増大しました。また銀行等が設立され資金が安定し、ミシンの動力化も進んで、名実ともに行田の足袋は日本一となりました。

昭和13年(1938)の足袋生産量は8,400万足で、これは全国生産のおよそ8割を占めていました。



現在も全国トップシェアをほこっています



●足袋とくらしの博物館
全盛期の行田の足袋工場の様子を再現した館内で、足袋づくりの実演見学などができます。
土・日のみ開館
開館時間 10:00~15:00
行田市行田1-2 TEL.048-552-1010

アツい! 楽しい! 行田のお祭り

行田には四季を彩るお祭りもいっぱい!



7月下旬 行田浮き城まつり



5月4日 さきたま火祭り



12月6日 愛宕神社 西の市



11月中旬 行田商工祭・忍城時代まつり

7月 : 8月 : 9月 : 10月 : 11月 : 12月

- 7月: 蓮まつり
- 8月: とうろう流し納涼大会 (8月16日)
- 9月: 浮き城まつり (7月下旬), ささら獅子舞
- 10月: 菊花展, 商工祭・忍城時代まつり, 西の市
- 11月: サケの遡上 (10~12月末)
- 12月: ぎょうだ"夢"まつり (11月下旬)

古代蓮 (6月~8月)



ホテイアオイ (8月~9月)



キタミソウ (10月~)



菊 (10月~11月)



行田ゆ〜年くる年